

第29回ESD COORDINATOR資格認証セミナー

期日：平成28年5月31日(火)～6月1日(水)：10:00～17:00

会場：大田区産業プラザ(東京 蒲田) 4Fコンベンションセンター

主催：一般財団法人日本電子部品信頼性センター

エレクトロニクス産業のあらゆる分野で、静電気管理の重要性が増しており、静電気技術者(ESD COORDINATOR)の育成、社内の地位確立・向上が要請されています。本セミナーは、静電気管理の国際規格であるIEC61340-5-1に基づき改訂したRCJS-5-1(第2版):2014を用いた研修と試験を行い、ESD COORDINATORを認証するものです。この機会に社内のESD技術者の育成、資格取得をお勧めします。

実施要領

1. 日時(2日間)：

平成28年5月31日(火)：10:00～17:00

平成28年6月1日(水)：10:00～16:30 (14:30～16:30に試験を行います)

2. 場所：大田区産業プラザ 4階コンベンションホール(添付地図参照)

3. 認証クラス：ESD COORDINATOR

4. セミナー内容：

RCJS-5-1(第2版):2014(静電気現象からの電子デバイスの保護—一般要求事項)の解説及び試験

5. 教材：RCJS-5-1(第2版):2014¹⁾+RCJS-5-1 附属書I&J:2015²⁾+RCJS-TR-5-2:2013³⁾+その解説書⁴⁾

注1)RCJS-5-1(第2版)は、世界標準のIEC 61340-5-1に準拠し、日本の接地環境に適応した静電気管理規格です。本制度の資格認証の基準となる規格です。

注2)この附属書は、包装資材(IEC IS 61340-5-3:2015に対応)とその測定方法を扱っている参考規格です。参考情報としての位置づけで、試験範囲からは除きます。

注3)RCJS-TR-5-2:2013(静電気現象からの電子デバイスの保護—指針)は、IEC TR 61340-5-2(2007)を基に、RCJS-5-1用に改定した指針です。

注4)解説書は、「静電気管理技術の基礎—RCJS-5-1, RCJS-TR-5-2を読むために(二澤 正行著、RCJ 監修)」(2013年10月1日発行(全面改訂第3版))です。この解説書は、従来の解説書を大幅に改定し、RCJS-5-1, RCJS-TR-5-2を中心に解説したものです。

注5)出題は、主に1)のRCJS-5-1(第2版):2014の内容からの出題です。その他、4)の解説書の第2編、第3編からの出題、及び応用問題もあります。

6. 参考図書(セミナー代金に含まれませんので、別に購入をお願いします。本の内容は試験範囲から除きます)

1)「静電気管理入門」(二澤 正行 編著、森北出版:2011年10月)は、新しい出版社より2011年10月に再発行しました。静電気管理の基礎的な内容が解説しています。

2)「静電気管理のためのデータブック」(二澤 正行 監修、RCJ 出版:2012年6月)は、主にRCJS-5-1と引用規格に従った静電気管理用資材の測定方法と実測データ及び評価について記述されています。

7. 講師：RCJ ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会が推薦した主任 ESD COORDINATOR(未定)

8. 参加費(消費税込み：2日間の昼食代(弁当)を含む)：

一般：72,360円

RCJ 会員：51,840円

9. 定員：150名

10. 申込方法

申込先：	(一財)日本電子部品信頼性センター 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-6 カミナガビル3階 TEL：03-5830-7601、FAX:03-5830-7602
申込締切：	平成28年5月23日(月)(但し定員150名を超えた場合は締め切り前でも申し込みを打ち切ります。)
申込方法：	写真貼付の上「参加申込書」を上記あて送付すると共に、「参加費」を現金書留又は銀行振込でご送金下さい。銀行振込の手数料は、申込者負担です。銀行振込の場合は、振込内容(振込予定日、金額、振込人名義)を参加申込書に明記して下さい。振込み期限は、貴社の都合に合わせて頂いて結構です。 なお、Eメール、FAXでの申し込みも可能です。Eメールの場合は、写真の解像度を400dpi以上のJPEGにして下さい。FAXの場合は、鮮明な写真を確認するため、後日申込書も郵送して下さい。 なお、請求書及び領収書の発行を致しますので、必要な場合はその旨申込書にご記入下さい。
振込銀行 口座名：	三菱東京UFJ銀行、日本橋中央支店 普通預金口座 0084373 口座名義：(一財)日本電子部品信頼性センター

問い合わせ先

(一財)日本電子部品信頼性センター RCJ ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会事務局 (塩野、榎永)

E-Mail: shiono@rcj.or.jp

RCJ ESD COORDINATOR 資格認証制度

1. RCJ ESD COORDINATOR 資格認証制度とは？

ESD COORDINATOR 資格認証制度とは、一般財団法人日本電子部品信頼性センター(RCJ)が、IEC 61340 シリーズ規格を基準として、ESD COORDINATOR を認証する制度です。

ESD COORDINATOR は、組織内での開発・設計・製造・購買・管理・教育訓練・現場サービスにいたる ESD 管理システムを構築し、維持、管理する役割を果たします(ただし、この認証では IEC 61340 シリーズの中で、人体安全性や労働安全性など安全性についての項目は、除外します)。このような役割を果たすために、ESD COORDINATOR は、ESD 管理技術全般と品質管理技術の双方についての知識をもち、ESD に係わる人、物、環境との相互関係を考慮し、組織の ESD 管理プログラム推進のための管理能力をもつことが期待されます。また、組織内外の監査に対して、豊富な経験と知識に基づいて明確に対応する役割を持つものです。

2. ESD COORDINATOR とは？

本資格認証制度では、ESD COORDINATOR と主任 ESD COORDINATOR の認証を行います。

ESD COORDINATOR とは、最低限 IEC 61340 シリーズの 5-1(静電気現象からの電子デバイスの保護—一般要求事項、現在はその改訂版の RCJS-5-1)に記述された ESD 管理作業に関する知識を有する ESD 管理の専門家で、施設内の ESD に関連することに対して責任を持つ技術者です。

主任 ESD COORDINATOR は、IEC 61340-5-1(改訂版 RCJS-5-1)を含めその他の IEC 61340 シリーズ規格の知識を有し、さらに豊富な実務経験を有し、ESD COORDINATOR や ESD 作業従事者の教育・訓練を行い、社内の指導的立場に立ち、全社的な ESD 管理に責任を持つ技術者です。ESD COORDINATOR 認証取得が前提です。

一般に、ESD COORDINATOR と主任 ESD COORDINATOR は、ESD に関する諸問題に機動的に対処するため、日常の担当業務や職制に規制されることなく、別システムの組織と権限を持ち、独立に活動できることが推奨されます。

又、将来、必要とする実務期間終了後、ESD COORDINATOR、主任 ESD COORDINATOR の他に、2つの COORDINATOR を統率する上級 ESD COORDINATOR の認証を行う予定です。その主な責務は、ESD COORDINATOR、主任 ESD COORDINATOR の RCJ ESDC 資格認証専門委員会への推薦と監査です。

3. RCJ ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会の組織図

RCJ が運営する ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会の組織は以下の通りです。研修・試験分科会でセミナーと資格試験を実施し、その結果を基に、認証分科会で認証者の推薦を行います。その推薦を受け、RCJ が認証書、ID カードを発行します。また、資格所有者が会員となる連絡協議会は、会員相互の情報交換や本制度への提言などを行う委員会です。

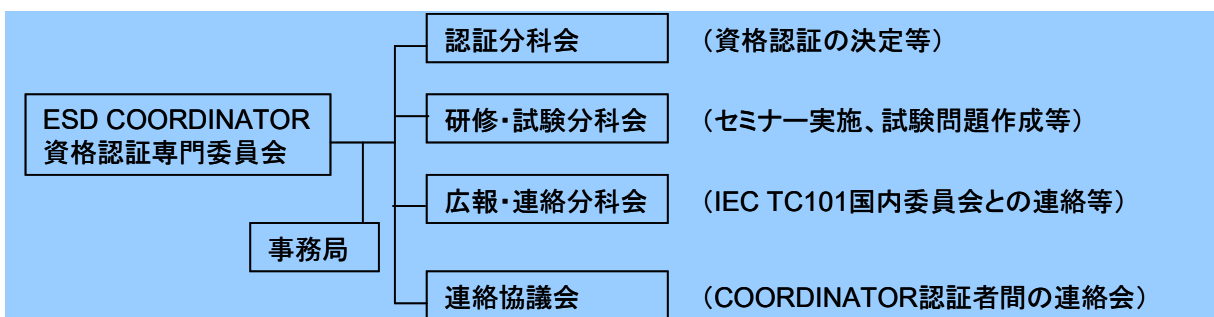


図1 RCJ ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会の組織

RCJ ESD COORDINATOR 資格認証実施要領

1. ESD COORDINATOR 資格認証基準

- (1) 年2回行われる RCJ 主催の ESD COORDINATOR のためのセミナーを受講すること。
- (2) 上記セミナーと同時に行う試験、又は再試験に合格すること。

2. ESD COORDINATOR セミナーと試験

2日間の研修・セミナーを行い、2日目の最後に認証試験を行います。セミナーと試験は年2回(5月、11月)を予定します。

2.1 セミナー

1.5日間のIEC 61340シリーズに基づくESD管理に関するセミナーを行います。教材は、IEC 61340-5-1(静電気現象からの電子デバイスの保護—一般要求事項:現在はその改訂版のRCJS-5-1)、及びその解説書からなります。

2.2 試験

2日目の後半に、資格認証試験を行います。試験時間は2時間とします。出題の範囲は、原則としてRCJS-5-1と解説書の内容です。なお、RCJ指定教材の持ち込み可、電卓可(その他のIT機器は持ち込み不可)とします。

試験結果は、試験後1ヶ月以内に受験者に郵送します。また、合格者には、認証書及びIDカードを授与します。

2.3 再試験

年4回再試験を行います。期日は、原則として4月、8月、10月、2月を予定します。再度のセミナー受講の必要はなく、再試験のみの受験となります。なお、1回のセミナー受講の有効期限は2年間とします。

3. ESD COORDINATOR 資格の有効期限及び更新

資格の有効期限は3年とします。資格の更新のためには、再度のセミナー受講が必要です。セミナーは1日間を予定し、その後レポート提出が必要です。評価を行います。不合格の場合は再提出が必要になります。これは、IEC 61340シリーズ規格の改定に伴う研修が必要と考えるためです。

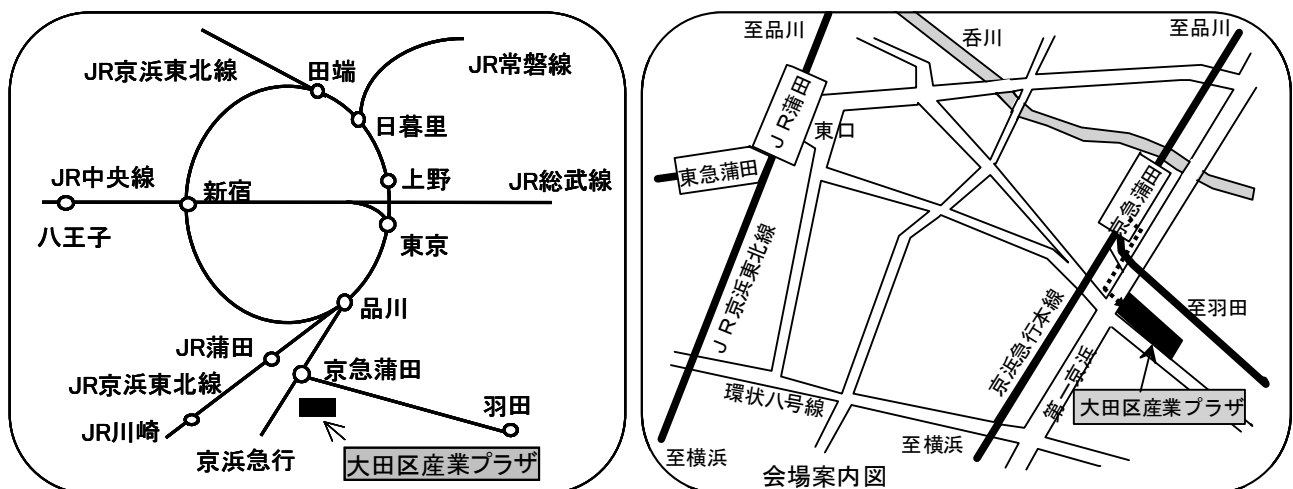
4. その他

主任ESD COORDINATORについては、ESD COORDINATOR資格を取得し、ESD管理実務経験を有し(原則として、2年以上)、さらに主任ESD COORDINATOR用の研修を受講し、試験に合格することが必要です。

5. 費用

初回のセミナー・試験受講料、再試験受験料、資格更新のためのセミナー受講料は必要です。また、資格維持のための年会費(8,000円/年)が必要です。但し、初回登録年度(該当年の4月～翌年3月)は、年会費は免除されます。

◆会場ご案内



会場: 大田区産業プラザ: 4階コンベンションホール (<http://www.pio-ota.jp/plaza/map.html>)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20

交通: 京浜急行線・空港線/京急蒲田駅より徒歩約2分 (品川・横浜・羽田空港よりの所要時間各約10数分)

JR京浜東北線/蒲田駅より徒歩約12分

<費用>

区分	項目	費用(消費税込み)(円)	
		RCJ賛助会員	非会員
①	ESD COORDINATOR資格認証セミナー (・RCJS-5-1(第2版):2014、・附属書I&J、・RCJS-TR-5-2:2013、・解説書)	51,840	72,360
オプション(RCJ賛助会員、非会員の区別なし)			
②	「静電気管理入門」(二澤 正行 編著 森北出版:2011年10月)	3,888	
③	「静電気管理のためのデータブック」(二澤 正行 監修 RCJ出版:2012年6月)	6,264円(特別割引)	

- 注1) セミナーは、原則として、①のRCJS-5-1(第2版):2014と解説書(全面改訂第3版:2013)で行います。また、試験範囲は、主にRCJS-5-1(第2版):2014と解説書の第2編、第3編からです。
- 注2) ②はESD管理の入門書です。IEC 61340-5-1以外のMIL規格等を含めたESD管理の実際を解説しています。この本は、絶版となりましたが、新しい出版社より2011年10月に再発行しました。
- 注3) ③は、静電気管理用資材や保護アイテムの測定方法と実測データをまとめたものです。セミナーテキストRCJS-5-1とその引用規格に従った測定の実績が記述されています。

RCJ ESD COORDINATOR資格認証専門委員会 事務局宛

申込先:	(一財)日本電子部品信頼性センター 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-6カミナガビル3階 TEL:03-5830-7601、FAX:03-5830-7602 E-Mail: shiono@rcj.or.jp
------	--

締切:平成28年5月23日(月)(但し定員150名を超えた場合は締め切り前でも申し込みを打ち切ります。)
(注: セミナー開催日 5月31日(火)、6月1日(水))

第29回 RCJ ESD COORDINATOR資格認証セミナー参加申込書

(ふりがな) 氏名:	ここに写真を貼付して下さい (5cm×4cm程度) (注: そのまま認証カード写真となりますので、鮮明な写真を貼付して下さい。備考も参照)
会社名: (所属)	
住所:(〒)	
TEL:	
FAX:	
E-メール:	
RCJ会員の区分 (会員又は否に○印を付けて下さい。)	RCJ 賛助会員 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
申込内容(申込内容に応じ、以下にご記入下さい。)	
① (セミナーのみ)	その他: 必要な書籍(上記②、③)を以下にご記入下さい。
・支払方法: 現金書留/銀行振込(三菱東京UFJ銀行、日本橋中央支店、普通預金口座 0084373、名義:(一財)日本電子部品信頼性センター)(請求書要の場合は、下記の記入は不要) ・振込予定日: 月 日 ・振込金額: 円 ・振込人名義	請求書、領収書の要否(該当する箇所に○印を付けて下さい) 請求書 要 否 領収書 要 否
注:申込者には、受講券とセミナーテキストをお送りします。	
事務局記入欄(記入しないで下さい)	
受理番号:	
受理日:	

備考: 写真は、デジカメ写真でも結構です。電子データ(JPEG:画素数 640×480 程度以上)をそのまま送って下さい。